

科目名	文学特論Ⅱ Japanese Literature II			担当教員	富士原 伸弘, 東城 敏毅		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	12220038	単位区別	履修
学習目標	日本文学の原点ともいえる作品である『古事記』『万葉集』(古代日本文学)の読解を中心に, 種々の文学やその理論にも触れることで, 創造的な発想力や思考の柔軟性を養い, 視点の取り方の方法を学ぶ。また, 日本語による表現力・討論力の向上も目的とする						
進め方	講義と相互議論(論述)を行う。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. ガイダンス(1) 2. 『古事記』『日本神話』を読む(29) (1) 日本神話概説 (2) 古事記の成立・古事記と日本書紀 (3) 「伊耶那岐と伊耶那美、黄泉国訪問」 (4) 「天照と須佐之男、天の石屋戸」 (5) 「八岐の大蛇退治、出雲神話」 (6) 「大国主神、根国訪問」 (7) 「天孫降臨、木花佐久夜毘売」 (8) 「海幸彦と山幸彦、海神の宮訪問」			日本文化の基層をなす神話について学ぶ。 A1:3, A3:4 様々な説話の中で問題点は何かを考える。 B1:1-3 自分の考えを要領よくまとめる。 B2:1-2 説明内容を理解させる工夫をする。 B3:1-3			
	前期末試験						
	3. 試験問題の解答(1) 4. 『万葉集』を読む(28) (1) 『万葉集』とは何か (2) 「初期万葉」—伝誦歌と額田王 (3) 「天武・持統朝と旅の歌」 (4) 「柿本人麻呂」—人麻呂の詩性 (5) 「山部赤人」—叙景歌の成立 (6) 「山上憶良」—子を思う歌と貧窮問答歌 (7) 「伴家持」—「天平万葉」の時代 (8) 「東歌と防人歌」			日本文化の基層をなす和歌について学ぶ。 A1:3, A3:4 様々な和歌の中で問題点は何かを考える。 B1:1-3 自分の考えを要領よくまとめる。 B2:1-2 説明内容を理解させる工夫をする。 B3:1-3			
	後期末試験						
	6. 試験問題の解答(1)						
評価方法	評価の内訳: 定期試験 60%, 提出物 20%, 授業内演習 20%						
履修要件	特になし。						
関連科目	国語Ⅰ(1年)→国語Ⅱ(2年)→国語Ⅲ・語学演習(3年)→文学特論Ⅱ(4年)→文学特論(専攻科2年)						
教材	教科書: 年表資料 上代文学史—古代日本文学を知るための最適ガイド 笠間書院 金井清一・小野寛編 また, プリント等を適宜配布する。						
備考	『古事記』授業担当者は富士原, 『万葉集』授業担当者は東城。						